

【27年度補正予算（県事業）の要望について】**【安全で安心な暮らしを支える河川の整備促進】**

- 本県における洪水対策は、過去に大きな浸水被害が発生した箇所を優先し、地元自治体と連携しながら、一定の安全度を目指して河川整備を推進。
- 昨年8月の豪雨で浸水被害が発生した日下川の整備を前倒し、事業効果の早期発現を図る。
- 大規模な津波被害が想定される松田川で、堤防天端の保護や、堤防裏法尻の補強などを実施し、粘り強い構造にすることで、避難時間を確保する。
- また、本年9月の関東・東北豪雨により鬼怒川などの被害を見てもハード対策で全てを防ぎきれものではないと痛感。
- 想定外の雨に備えたソフト対策、その中でも、住民の皆様的確な避難につながる情報提供が重要。
- 特に、昨年8月の豪雨で、大きな浸水被害が発生した20河川では、ハード対策と併せて、住民の的確な避難につながるよう、残る7河川を対象に河川監視カメラの設置を行う。
- 河川整備の推進とともに、市町村の行う水防活動や避難勧告が的確かつ迅速に行われるよう情報提供を充実させるなど、ハード・ソフト両面の対策を実施するため、補正予算の配分をお願いする。

【県民の安全安心につながる「命の道」の整備促進】

- 県民の安全安心な生活を確保するため、異常気象時の落石や地すべり等の大規模災害を回避できる信頼性の高い高規格道路の整備促進が必要。
- 四国8の字ネットワークの一部を構成する北川道路2-2工区では、和田地区における用地買収がほぼ完了したことから、本格的な道路整備について、補正予算を利用して一層加速させていく。

平成27年度補正予算(県事業)の国への要望

安全で安心なくらしを支える河川の整備促進

121百万円

本年9月の関東・東北豪雨に伴う鬼怒川の堤防決壊による大災害を踏まえ、
『ハード対策』と併せて、住民の的確な避難につながる『ソフト対策』が必要不可欠

HARD ◆浸水被害を軽減するための河川堤防の整備【100百万円】

- 平成26年8月豪雨により、浸水被害が発生した日下川を重点整備し、治水整備効果を早期発現
- 津波被害が想定される松田川で、堤防天端の保護や堤防裏の補強など、粘り強い構造にすることで、避難時間を確保
[河川整備] 2河川、2,700m



SOFT ◆河川防災のタイムリーな情報収集・発信と住民との共有体制の強化【21百万円】

- 平成26年8月豪雨により、大規模な浸水被害が発生した河川において、**河川監視カメラ**の設置を推進
[監視カメラ設置] 7基 (※全体計画:20基 整備済み:13基)

平成26年8月豪雨で、大きな浸水被害が発生した20河川で設置が完了

水防活動や避難勧告を
的確かつ迅速に実施



県民の安全安心につながる「命の道」の整備促進

76百万円

◆阿南安芸自動車道 北川道路 (四国8の字ネットワーク) の整備促進【76百万円】

- 異常気象時の落石や地すべり等の大規模土砂災害を回避できる信頼性の高い高規格道路の整備を促進

[トンネル取付部整備] 路側擁壁65m、道路概略設計1式

[現道である一般国道493号の状況]

- ・落石崩壊等の危険箇所が65箇所所在
- ・平成26年8月の台風第11号では、斜面崩壊により10世帯27人が最大4日間孤立
- ・事前通行規制区間では、全面通行止めが、年間14.6回、のべ317時間発生 (過去5年間平均)

